

今日のごはんは研修所米

研修所のお米作りは、地元柿野浦の方々や、畑野の佐々木邦基さんにアドバイスしていただきながら少しずつ歩みを進めています。お米育ては自分育てであった…、1年生・マサオのレポートです。

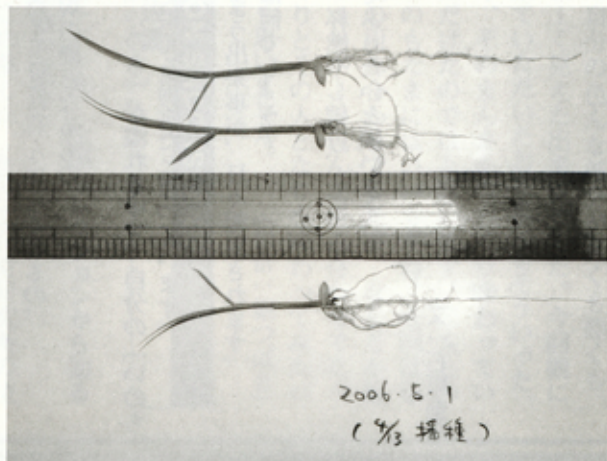


研修所米日記二〇〇六 一年・乾 雅雄
「稲から稲へ、そしてまた…」

「今日のご飯は、研修所で穫れた研修所米です。」入所日の夕食。この日の食事当番の大輔さんの説明があり、1年生は左手のぎこちない箸使いでご飯をパクリ。確かにそう言われれば、いつもと違っておいしいような…。

研修所では、柿野浦の集落の方から田んぼをお借りして、自分達の食べるお米を、稲から育苗し、最終的に脱穀をしてまた稲になるまで、そのほとんどを手作業で作っています。僕は、田んぼ作業のリーダーを2年生の大輔さんと一緒にやっています。何でやってるか？ それは農作業が好きだから。何で好きかって？ うーん、うまく言えないけれど、宇宙ステーションっていう、宇宙船に乗って宇宙で生活している人がいるこの時代に農業ってかっこいいやん、なんて。

そんなこんなで四月、思っていた以上に大変な田んぼ作業が幕を開けた。まずは、稲を苗箱にまく事から始まった。昨年収穫した稲を2年生が予め用意してくれていて、皆で苗箱にまいていく。この作業が意外と難航し、夜遅くまでかかって、眠気と闘いながらまいりたなあ。その次は、田んぼに簡単なハウスを作って育苗。大輔さんと僕で、毎日、朝・昼・夕とハウス内の温度管理をやったなあ。この頃、田んぼ係になったことを少し後悔。でも育苗の終盤に稲が芽を出しているのを最初に発見できたのは僕達リーダーの二人。研修所米チルドレンくんには！長い間温度を計って来て、ほんまに芽を



出してくれるのになって心配やったけど、出て来てくれてひと安心です。

周りの田んぼに苗が植えられてから約一ヶ月後の五月の終わり。いよいよ研修所の田植え。田植えの前に皆で豊作願って太鼓や唄を歌ったなあ。昔の人は、こういう祈願の為に太鼓叩いたりしてたんだけど、この時も、ほんまに豊作になつてくれと思つてやったなあ。田植えはもちろん手で植える。はじめの方は楽しくて、一人で一度に五列ずつ植えたりしていたけど、だんだん腰が痛くなり、研修所で田植機買って欲しいー、ってそんな思いも込めながら植えたなあ。田植えが終われば次は収穫！ という訳にもいかず、次に待っているのが田んぼの中の除草。これがまた大変。一番手強いのがコナギという草で、抜いても抜いても生えてくる。お願いだから他所の田んぼに生えてくれって思いながら、雑草達と



水口（みなくち）に田の神を迎えるお供えをして田植えがスタート

写真上：田んぼの畦塗り 写真下：田植え前の泥田で剣舞を踊る



「おいしいです！」と言えます。研修所に来てお米を自分達の手で作ってみて、身の周りにある当たり前のようにある全ての物は、どこかの誰かが、いつか使ってくれる誰かのことを思って作っている物なんだな。当たり前の物なんて一つもないんだなと、最近実感しています。研修所米のおかげで、稲の成長には負けるけど、僕も少しは成長できたかなあ。

そう言えば、稲の中には、僕の見習いたいやつがいました。それは、研修所の校庭の片隅で、昨年の収穫の時に稲穂から落ちた籾から育ったであろう稲が、見事に穂

いたちごっこをしていたなあ。そうこうしているうちに八月の初めになり、EC作業で一ヶ月程田んぼの世話ができなくなるので、田んぼに少しのお別れを言い。すると田んぼへ行く所々で、穂になっている稲を発見。やっここまで育ってくれたと嬉しくなると同時に、着々と成長を見せる稲にちょっと嫉妬。その後も稲は順調に成長し、十月の初め、ついに収穫・稲刈りです。あともう少しで自分達で育てたお米が食べられると思うと作業ははかどった、かなあ。この後、はぎ掛けし、脱穀。只今、唐箕がけがあと少しのところですよ。こうやって、九割九分という野球界では考えられない率で、手作業でお米を作ってみて、これまで当たり前前の事として食べてきた白いお米に対する考え方が一変し、今食べられている研修所米は、入所日に食べた時とは違って、自信を持って「おいしいです！」と言えます。研修所に来てお米を自分達の手で作ってみて、身の周りにある当たり前のようにある全ての物は、どこかの誰かが、いつか使ってくれる誰かのことを思って作っている物なんだな。当たり前の物なんて一つもないんだなと、最近実感しています。研修所米のおかげで、稲の成長には負けるけど、僕も少しは成長できたかなあ。



稲刈り前に唄を奉納

をつけていたのです。誰にも気にかかられもせず、ただ自分の力を信じて、一生懸命成長し続け、田んぼの稲にはさすがに劣るものの、全長三〇センチ程の稲が立派な穂を実らせていました。僕もいつの日かそんな人間になりたいな。

そして、ついこの間、十一月十二日。日頃、お世話になっている方々を研修所にお招きしての収穫祭。偶然にも田んぼリーダーの二人、大輔さんと僕が司会進行。乾杯も終わり、いよいよ今日の料理の紹介です。ついに僕にもこの瞬間がやって来ました。少し緊張。

「今日のご飯は、研修所で穫れた研修所米です!!」